

2024年度 事業報告書

第 22 期

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日
特定非営利活動法人 ケーネット知楽市

I. 会員の状況

個人会員 38 名（正会員 22 名、準会員 16 名）
 期中増 0 名
 期中減 1 名
団体会員 2 団体

《アクティブメンバー》

プロジェクト名	正会員	準会員	その他	計
発達障害者支援	6 人	1 人		7 人
まちプロジェクト	2 人			2 人
プログラミング教育	11 人		1 人*	12 人
I C T 支援員	2 人	7 人		9 人
合計（重複を除く）	15 人	8 人	1 人	24 人

II. 事業報告

はじめに

生成AIや人型ロボットなど、情報技術の進化はますます加速しており、障害のある方や高齢者、子どもたちにとって、その利活用が社会参加や学びの機会に直結する重要な鍵となっています。創立20周年を超えて新たな20年をスタートしたケーネット知楽市は、社会の変化や地域のニーズに柔軟に応え、次の時代にふさわしい支援のあり方を模索し続けています。2024年度は、こうした背景をふまえ従来の活動を深化させるとともに、新たな取り組みにも挑戦しました。

ボランティア団体としてのふたつの目的、

① 自主的、自発的活動が、会員の生きがい、楽しみとなる

② 活動の成果が（民間や行政を補完して）社会的共通資本の充実に資する
を常に意識し、その両立を図りながら、次の時代にふさわしい団体像を模索していきます。

本報告書では、2024年度の活動の意義と成果をお伝えします。

1. 発達障害者支援プロジェクト

1) IT サロン

2024年度も、石川県健康保険課主幹の青年期発達障害者就労支援事業に参画し、発達障害支援センターパース様とともに活動しました。

〔開催時間〕 毎週火曜日 10:00～12:00（受講生増に伴い1時間毎の2部制で実施）

〔開催場所〕 発達障害支援センターパース会議室

〔実施回数〕 45回（受講者延べ159名、講師延べ159名）

受講生は1名増加し7名となりました。各受講生の関心や能力に応じて臨機応変にテーマを設定しています。引き籠りがちな受講生にとって、週（または隔週）に一度の受講が安心安全で楽しみな場となっています。皆さん開始時間より早く来て準備しています。

今季中に1名就労に向けて現在手続き中です。

なお、受講生増や、開催場所のアクセス向上を目的に別場所での開催も引き続き検討中です

IT サロンの様子



内容：Office ツールの使い方習得
：3D-CAD 学習
：コマ撮りを繋げ動画作成
：キャラクターイラスト描画
：その他趣味や就労にむけた
取組

開催：毎月3～4回（火曜日）

形式：対面 / リモート

2) インターネットカフェ

今年度も、はぎの郷利用者向けの「PCカフェ」、ホームすぎな利用者向けの「サタカフェ」をそれぞれ月2回開催しました。

〔開催時間〕

＜PCカフェ＞ 第1・3水曜日 14:00～15:00

＜サタカフェ＞ 月2回土曜日 10:00～11:30

〔開催場所〕 ジョブスタジオ ノーム 2階作業室A

〔実施回数〕

＜PCカフェ＞ 21回（受講者延べ168名）

＜サタカフェ＞ 24回（受講者延べ168名）

- ・今年度もなかまの皆さんにとって大切な時間となる PC カフェが第 1・3 水曜日と同土曜日に開催された。皆さんにとっては待ち遠しい楽しい活動となっており、生活の中に大きな地位を占めている活動ではあるが、9 月には新型コロナウイルスの影響により 1 月にはインフルエンザの影響により中止せざるを得なかった他、大雪等の影響で講師の方が来られない事態も発生した。
- ・成果物として「報道特別番組の歴史」「私の日記」「写真家ダンボの写してぼん」を製作。当法人が関わる作品展にて、好評を得て、今後も出展予定あり。
- ・移動が難しい 2 名の方には、別会場（はぎの郷 B 棟）で zoom をつないで活動していただいたが、更に他の利用者を巻き込んで、PC や ICT に触れる契機となる活動が展開できた。（選択支援、買い物支援・・・等）
- ・活動に使用する PC については引き続きイーパーツや他企業、一般からの寄贈をお願いしている。今年度は 1 台の PC を再生機により更新した。またケーネット知楽市様より HDD 5 台のご寄贈をいただき、動画・音楽の保存先として活用出来るようになり、日中の活動の充実に大いに役立てることが出来た。

社会福祉法人つくしの会
障害者支援(自閉症者療育)施設 はぎの郷
ジョブスタジオ ノーム・ホームすぎな
施設長 水野 成

インターネットカフェの様子



「自閉症者支援施設 はぎの郷」様の利用者に、ICT を活用した余暇の充実と、社会参加を支援

**開催：毎月 4 回(第 1、第 3 の
水・土曜日)**

形式：クラブ活動

2. まちプロジェクト

1) 紙芝居電子化プロジェクト

今年度は新たに電子化した作品はありませんでしたが、70 作品を YouTube 知楽市ライブラリに公開中です。

電子化状況（2025 年 3 月現在）

	依 頼 元	YouTube 掲載数	備 考
1	おはなし円グループ（かほく市）	12	
2	かほく市：絵本うのけの昔ばなし	19	かほく市に DVD58 セット寄贈し、市内施設に配布
3	語り部木の葉(小松市)	2	
4	かなざわ夢紙芝居(金沢市)	27	片山三千雄氏作品集
5	英田公民館(津幡町)	1	
6	絵本カフェなないろ(小松市)	1	
7	外日角小学校(かほく市)	1	
8	金石紙芝居(金沢市)	3	仕事唄、紹介町図等も収録
9	かほく市偉人伝 紙芝居	4	かほく市から「R 5 年度 郷土資料デジタル化作業業務」を受託
合 計		70	



2) 障害のある方のスマホ・パソコン相談窓口への講師派遣

昨年に続き、金沢市社会福祉協議会から依頼を受けて「障害のある方のスマホ・パソコン相談窓口」に相談員を派遣しました。

この相談窓口は、金沢市在住の障害のある方とご家族・支援者を対象としたもので、毎月第3・第4木曜日に開催しています。2024年度は、計24回、相談員を派遣しました。



障害のある方の スマホ・パソコン相談窓口

無料

金沢福祉用具情報プラザでは、障害のある方を対象にスマホやパソコンに関する相談を受け付けています。
専門の相談員がお応えしますので、お気軽にご相談ください。

(例) ラインを始めたい。
コンピューターウイルスなどセキュリティ対策を知りたい。
インターネットやメールの使い方を知りたい。 等



○開催日 月2回 第3・第4木曜日
※都合により変更する場合があります。詳しくはお問い合わせください。

○時 間 おひとり60分(各時間定員1名) ※ご希望の時間帯をご予約ください。
① 13:30～14:30 ② 14:30～15:30 ③ 15:30～16:30

○場 所 金沢福祉用具情報プラザ2階「会議室」(金沢市本町1-10-1 隣金沢)

○対 象 金沢市内にお住まいの障害のある方とご家族、支援者

○相談員 NPO法人ケーネット知楽市

○その他 ① ご自分のスマホやパソコンなどをご持参ください。
② 予約優先ですが、当日に空きがあればその場で相談いただけます。
③ 買い物や修理などの相談はお受けできません。また、相談内容によってお受けできない場合もあります。

《申込み・お問い合わせ》

金沢福祉用具情報プラザ
TEL:076-234-9900 FAX:076-234-2300
E-mail: yogu-plaza@spacelan.ne.jp
(火曜日、年末年始除く) ※火曜日が祝祭日の場合は翌日が休館日になります
受付:午前10時～午後6時

3. プログラミング・プロジェクト

1) プログラミング教室開催

ITCatsかほく推進協議会主催のプログラミング教室を中心に、教材としてLEGOロボット、Scratch、ドローンを使用して、小学生、中学生を対象にプログラミング基礎習得～デジタル人材の底辺拡大を目的とした教室を開催しました。

	教室名	教室概要	受講者
1	LEGOロボット親子コース	小学校1～3年親子を対象とした教室で、入門、初級、中級とレベルに応じて3つのコースを開催 ・入門：1日コース、3回の開催で24組が参加 ・初級：2日コース、3回の開催で15組が参加 ・中級：2日コースで1回の開催で3組が参加 (中級について募集中)	のべ42組の親子
2	Scratch基礎コース	小学校3～6年を対象に2日間コースを3回実施 (3月開催については募集中)	21人
3	ドローン体験親子コース	小学生親子を対象に1日コースで4回実施	31組の親子
4	宇宙少年団北コロンビア分団プログラミング教室	小中学生を対象にLEGOロボットによるプログラミング基礎教室を2回に分けて実施	28名
5	ワークショップ	下記のイベントでドローンを使ったワークショップを開催 ・e-messe金沢(石川県産業展示館) ・ITCatsかほく石川県プログラミングコンテスト(かほくAEON)	小学生を中心に多数
6	K-Labワークショップ	K-Labメンバーを中心にドローンでのワークショップを実施	7人



LEGO ロボットのプログラミング教室の様子

2) 新教材導入

今年度より、新たに導入したLEGO社のSpikeでのプログラミング教室を実施。従来のEV3と比較して、ハードウェアトラブルは大幅に減少したことで、スムーズなプログラミング教室運営ができるようになった。

また、EV3では、複数人での共有はできなかったが、SpikeではPC/Chromebookとの接続、切断の操作性が改善されたことで、複数人でのロボットの共有ができるようになり、受講生が多い教室の対応も可能となった。



知楽市オリジナルモデルのSpike

3) ドローンでの空撮プログラミング実施

より楽しくプログラミングを体験してもらうために、今年度より、ドローンで空撮ができるプログラミングツールを採用。これにより、ターゲットを撮影して基地に戻るプログラミングや、教室や会場の様子の動画撮影を行い、大画面表示を行うことで、受講生の取組の意欲upに繋がっている。



IT-CATSワークショップ ドローンを飛ばして写真を撮影しよう！の様子

4. GIGA スクール・プロジェクト

かほく市内の小中学校9校にICT支援員を派遣し、Chromebookのトラブル対応を中心に、デジタル教材活用やパソコン操作などのICT関連のサポートを行っています。

2024年度には、581件のインシデントが発行され、今年度中に、中学校での校務PCリプレイスが予定されているため、対応件数のさらなる増加が見込まれています。

ICT支援員派遣を始めて3年以上が経過し、日々の活動報告を記録・共有する仕組みが整っています。現在、8名の支援員がこれらの情報を活用し、効率的に対応を進めています。さらに、トラブル解決を迅速化するため、検索プログラムの開発を進め、情報の効率的な活用に取り組んでいます。



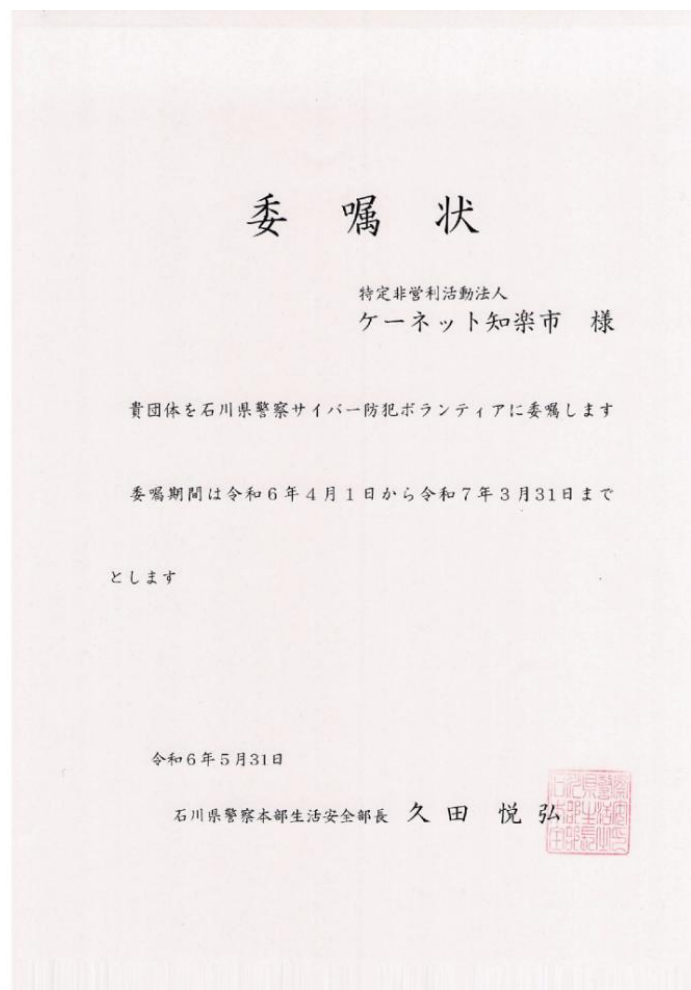
かほく市立 宇ノ気中学校

5.サイバー防犯ボランティア活動

今年も石川県警察からサイバー防犯ボランティアを委嘱されました。2024年5月31日、石川県警本部でサイバー防犯ボランティア委嘱状交付式が執り行われ、金沢工業大学、金沢情報ITクリエイター専門学校とともに、石川県警察本部 生活安全部長 久田様から委嘱状を受け取りました。

知楽市は、2016年から県警サイバー犯罪対策課と協力して、プログラミング教室などのイベントの際に、サイバー犯罪への対策や被害防止に向けた啓発活動を行っています。

今年度は、県警サイバー犯罪対策課にお願いして、知楽市メンバー向けに「サイバー犯罪に巻き込まれないように」をテーマとした講和を実施して頂き、自己啓発に努めました。また、県内の企業や団体にも県警サイバー犯罪対策課による講和をご紹介し、受講をお薦めしています。



6. e-messe

今年も e-messe kanazawa 2024（第39回いしかわ情報システムフェア、5月16日（木）～18日（土）、石川県産業展示館1号）に出展しました。

5年ぶりにMEX金沢と同時開催となった今年は、3日間の来場者数が1万人を超え、知楽市のブースにもたくさんの方々（今年から導入されたブース受付システム「SPdeBR」の集計で約100名）にご来場頂きました。

今年も、パネルを使って発達障害者支援活動、紙芝居の電子化、プログラミング教室など知楽市の各活動を紹介し、紙芝居動画を上映しました。

また、プログラミング体験コーナーは今年も大盛況で、たくさんの子供たちや学生そして大人の皆さんに、ドローンを飛ばすプログラミング（Scratch）に挑戦して頂きました。

《展示内容》

- ① パネル展示4点（各事業紹介、会員募集）
 - ・ ケーネット知楽市 団体紹介
 - ・ 発達障害者支援活動（ITサロン、インターネットカフェ等）の紹介
 - ・ プログラミング教育、ICT支援活動紹介
 - ・ 電波の日 情報通信月間
- ② 紙芝居動画上映（地域に残る民話等の電子化作品）
 - ・ かほく市偉人伝 紙芝居「東善作物語」「高橋ふみの生涯」「西田幾多郎の少年時代」
 - ・ 金沢市金石（宮腰）の民話・歴史・偉人伝「海の豪商 銭屋五兵衛」
- ③ プログラミング体験コーナー
 - ・ 小型のドローンを飛ばすプログラミング（Scratch）に子供たちや学生そして大人の皆さんが挑戦。一時行列ができるほどの盛況ぶりでした。



MEX との合同開会式



知楽市ブース



プログラミング体験コーナーで、



ドローンプログラミングに挑戦！

7. 『知楽市の履歴書』連載開始

知楽市ホームページに知楽市の20年を振り返る『知楽市の履歴書』の連載を始めました。

これまでに以下の9つの「履歴書」を掲載しました。

(1) わたしのノーブレス・オブリージュ	初代専務理事 高本芳昭
(2) アイディアミーティングの始まり	初代専務理事 高本芳昭
(3) 発達障害者支援プロジェクトの始まり	初代専務理事 高本芳昭
(4) 『自閉症者とパソコンと私』	杉江 裕子さん
(5) ケーネット知楽市とともに歩めた幸運と、出会えた皆様に感謝	発達障害者支援センターパース 前センター長 瀬戸美津子
(6) 金沢コミュニティ情報ネット「金沢e広見」の始まりと狙い	初代専務理事 高本芳昭
(7) 子ども安心・安全プロジェクトのはじまり	初代専務理事 高本芳昭
(8) シニア（高齢者支援）プロジェクトの始まり	初代専務理事 高本芳昭
(9) ITでつなぐ社会貢献の未来～知楽市に込めた思いとこれから	理事長 細野昭雄 (アイ・オー・データ機器 代表取締役会長兼社長)



内閣総理大臣表彰（2016年）



アイディアミーティング



trolらく楽パソコンクラブ



ITを使ってコロナ禍に対応

『知楽市の履歴書』は、今後も不定期連載の予定です。

Ⅲ.財政状況

2024年度

プロジェクト名	収入	摘要	支出	摘要	収支
発達障害者支援	24	・ 青年期発達障害者就労支援事業 (石川県)	37	・ パソコン減価償却費	▲13
スマホ・パソコン相談	12	・ 金沢市社会福祉協議会	10	・ 講師謝金	+2
プログラミング教育	21	・ 謝金	49	・ 講師／サポータ謝金	▲28
I C T 支援員	698	・ 委託費	696	・ 支援員給与	+2
その他	100	・ 会費 ・ 寄付金、補助金	68	・ 諸経費	+32
合計	855		860		▲5

- ・ 前期繰越金 71 万円 → 今期末 58 万円 (▲13 万円)

以上